

水道施設を紹介します

～本城浄水場～

施設概要

本城浄水場は、昭和12年に創設された銚子市唯一の浄水場です。当時の浄水能力は1日4,500 m^3 でした。その後6次の拡張工事、創設当時のろ過池の休止等をへて、現在は浄水能力1日31,200 m^3 となっています。水源は利根川水系黒部川及び白石貯水池で、本城浄水場で造られた水道水は概ね長塚町から東の地域と三崎、豊岡地域に給水しています。松岸町以西の地域は、東総広域水道企業団（東庄町笹川浄水場）から浄水を受水して給水しています。

本城浄水場施設の諸元

所在地	銚子市本城町6丁目1308番地		
浄水能力	31,200 m^3 /日		
水源	利根川水系黒部川及び白石貯水池		
沈澱池	薬品沈澱池（傾斜板付沈降装置）5池		
ろ過池	急速ろ過池18池		
浄水池	2池 容量1,938 m^3		
污泥処理施設	天日乾燥床 14床	濃縮槽 2池	回収槽 2池



◎主な設備

薬品沈澱池（傾斜板付沈降装置）



水源から送られてきた原水に凝集剤（ポリ塩化アルミニウム）を注入します。原水中に溶け込んでいる物質や浮遊物は、大きな粒子のかたまりとなり沈みます。次に、次亜塩素酸ナトリウムを注入して塩素消毒をします。

ろ過池



沈澱池で取り除けなかった原水中の細かい浮遊物を砂と砂利の層を通過させて取り除きます。水道水の出来上がりです。

送水ポンプ



浄水池から高台にある配水池へ送水して自然流下方式で市内へ給水します。送水ポンプは11台あります。

排水処理設備



沈澱池、ろ過池で発生した汚泥を自然乾燥で脱水する設備です。場内に14床あります。